

人口ビジョン【2020 年度から 2060 年度までの長期】

展 望	2060（令和 42）年に 15.1 万人以上を確保
出生率向上	現状値（2017 年）1.36 を 2035（令和 17）年に 1.90 2045（令和 27）年に 2.07 に向上
移動率改善 若い世代の	● 男性：25 歳～44 歳の移動率改善 （転出超過世代を±0、転入超過の世代を 2 割増） ● 女性：15 歳～24 歳の女性の移動率改善 （転出超過 1／2） ● 25 歳～44 歳の移動率改善 （転出超過世代を±0、転入超過の世代を 2 割増）

人口ビジョンに係る課題

（１）社会増の維持

① 転入の促進（人と企業を呼び込む）

・選ばれるまちづくりにより、他地域に転出した若者の呼び戻し（Ｕターン）をはじめ、交流人口・関係人口の創出、小山市への移住促進（Ｊターン・Ｉターン）を図るなど、小山市への人の流れをつくり、市外・県外からの転入者の増加につなげていく必要がある。

② 転出の抑制（若者に魅力あるまちづくり）

・最大の人口流出時期である大学進学・就職の時期に、若者や女性が地元に残りたいと思えるような、住みたい・住み続けたいと思えるようなまちづくりにより、当該世代を地元に着定させることが重要課題となっている。

（２）自然減の抑制（出生数の増加）

・国や県の取り組みと連携を図りながら、若い世代の意識や働き方・住み方、夫婦関係など、多角的な視点から出生数の増加に向けた取り組みを検討・実施していく必要がある。

人口ビジョンに係る現状

- 一貫して増加してきた総人口は何も手を打たなければ 2020（令和 2）年をピークに人口減少局面に移行すると推計
- 恵まれた立地条件、居住施策や雇用施策、小山の魅力掘り起こしや優位な交通利便性を活用した移住優遇制度の創設等により選ばれるまちづくりを行い、子育て世代が集まり社会増が継続
- 大学進学・就業年代の若い世代の東京圏への人口流出
- 社会的・経済的不安を背景とした未婚・晩婚・晩産化の進行による出生数の減少
- 人口減少による市民サービス・産業・生活へのマイナス面の影響が増大

総合戦略【2020 年度から 2025 年度までの 6 か年】

基本理念

小山の次代を担う
心豊かな

未来へつながる
ひとを創る

若者や女性をはじめとする、市民の快適な生活を
支える、住みたい・住み続けたい

未来へつながる
まちを創る

豊かな人のつながりと、健康で生きがいのある
安全・安心な

未来へつながる
くらしを創る

基本目標

1 おやまに魅力あるしごとをつくる

市内産業、地場産業のさらなる発展と次世代産業の創出を図りながら、未来へ繋げるおやまの農業農村を振興するとともに、おやまの自然、歴史・文化資源等を活かした戦略的・魅力的な観光地化と誘客を進め、海外からも選ばれるおやまの創出を図り、夢と希望溢れる新しい小山市を創ります。

成果指標	現況値 （令和元年度）	目標値 （令和 7 年度）
一人当たりの所得金額	320.4 万円（2018 年）	342.5 万円 以上を目指す
有効求人倍率	1.31 倍	1.10 倍

2 おやまに新しいひとの流れをつくる

おやまの未来を担う若者や女性の移住・定住促進を進めながら、産業・都市・教育・医療・福祉基盤の整備をはじめ、子育て環境の整備による新たな「人と企業を呼び込む施策」を推進するとともに、小山の魅力発信の推進、UJI ターンの支援による移住・定住の促進、関係人口の拡大等によるおやまへの新しい人の流れを創出します。

成果指標	現況値 （令和元年度）	目標値 （令和 7 年度）
女性の若い世代の人口移動状況 （15 歳～24 歳の人口移動数）（RESAS）	52 人	-76 人以上
おやまファンクラブ隊員数	1,113 人	※2024（令和 6）年度までに実施した事業の効果検証に活用

3 おやまで出会い、結婚、出産、子育ての希望の実現と誰もが活躍できる共生社会をつくる

出会いから結婚・出産・子育てに至るライフステージに応じた切れ目のない支援を通して、若者や女性の希望を叶えます。さらに、高齢者、障がい者や外国人などの多様な人々が活躍する共生社会の実現を目指します。

成果指標	現況値 （令和元年度）	目標値 （令和 7 年度）
子育て環境や支援に満足している人の割合	26.4 %	※2024（令和 6）年度までに実施した事業の効果検証に活用
合計特殊出生率	1.36 （2017 年度）	1.21

4 おやまに新たな時代に合った持続可能な地域をつくり安全・安心で快適なくらしを守る

コンパクトシティの推進等による暮らしやすいまちづくりを推進するとともに、健康長寿なおやまづくりの推進、地域包括ケアの充実、未来技術を活用した「スマートシティおやま」づくり、地域コミュニティづくり、県南 50 万人圏域の確立など、新たな時代に合った持続可能な地域づくりを進めます。

成果指標	現況値 （令和元年度）	目標値 （令和 7 年度）
住みやすいと感じる人の割合	84 %	90 %
小山地区定住自立圏における生産年齢人口の割合	58 %	60 %

【横断的な目標 1】
多様な人材の活躍を推進する

【横断的な目標 2】
新しい時代の流れを力にする

※基本目標 1～4 の具体的な事業において十分反映

戦略体系

戦略 1 ものづくり産業のさらなる発展と次世代産業の創出

- （1）地元企業の育成・振興（2）本場結城紬の復興・振興
- （3）産業人材の育成・起業の支援（4）農商工連携等による産業の創出

戦略 2 未来へつなげるおやまの農業振興

- （1）農畜産物の生産拡大（2）構造改革の加速化や国土強靱化に資する農業生産基盤整備の促進
- （3）多様な担い手の育成・確保・農福連携事業の促進（4）農地集積の促進（5）農業の高収益化を目指す「アグリブレーン」構想の推進（6）6 次産業化の推進（7）スマート農業の推進
- （8）農業・農村の多面的機能の維持・発揮（9）農業活性化のための情報支援

戦略 3 戦略的・魅力的な観光地化と誘客

- （1）渡良瀬遊水地周辺地域の観光地化（2）本場結城紬による観光まちづくりの推進
- （3）地域資源を活用した観光の振興（4）おやまブランドの創生・発信

戦略 4 国内外からも選ばれるおやまの創生

- （1）農畜産物・製造品・地場産業を活かした輸出促進
- （2）インバウンド・農泊・民泊・アグリスポーツツーリズム等による外国人観光誘客の推進

戦略 5 おやまの未来を支える若者や女性の移住・定住促進

- （1）おやまを愛する若者や女性のふるさと回帰促進
- （2）転入促進・若者の転出抑制のための経済的支援（3）良好な宅地の供給
- （4）若者や女性等の創業・就労支援（5）地元採用・就労の拡大支援

戦略 6 新たな人を呼び込む企業誘致の推進

- （1）産業基盤整備の促進（2）企業誘致・本社および本社機能移転の推進

戦略 7 おやまへの人の流れの創出

- （1）小山の魅力発信の推進・強化（2）UJI ターン支援による移住・定住推進事業
- （3）関係人口の創出・拡大

戦略 8 出会いから結婚までの支援の充実

- （1）命の育みと尊さを学ぶ機会の充実（2）小山市ぐるみの出会いの場の創出による結婚支援の充実

戦略 9 妊娠・出産・産後・子育ての切れ目のない支援充実

- （1）相談・サポート体制の強化（2）妊娠・出産の経済的支援
- （3）子育ての経済的支援（4）育児不安の解消支援（5）子育て環境の充実
- （6）社会の変化に対応した特色ある学校教育・教育基盤の充実
- （7）子どもたちの学習・活動・交流の場の整備（8）保健・医療体制の整備

戦略 10 多様な人々が活躍できる環境づくり

- （1）女性の活躍推進（2）多様で柔軟な働き方とワーク・ライフ・バランスの推進
- （3）高齢者・障がい者の活躍の場の創出（4）多文化共生社会の実現

戦略 11 暮らしやすいおやまの「まち」づくり

- （1）コンパクトな拠点の形成・居心地がよく歩きたくなるまちなかづくり
- （2）地域公共交通ネットワークの維持・拡大（3）既存ストックの活用（4）新市民病院を核とする県宮新都市整備、地区計画制度、地区まちづくりによる良好な居住環境の創出
- （5）公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進（6）災害に強いまちづくり（7）地域における防災体制・防災活動拠点の強化（8）防災情報システムの整備（9）総合消防力の強化

戦略 12 スポーツ・食育・医療による健康長寿 100 歳プロジェクトの推進

- （1）スポーツ・食育等による生涯を通じた健康づくりの推進
- （2）地域医療・在宅医療の推進（3）介護予防・生活支援の推進と介護サービスの充実

戦略 13 未来技術を活用したおやまづくり

- （1）未来技術の活用推進・実用化への支援（2）デジタル人材の育成・確保

戦略 14 地域コミュニティづくり

- （1）コミュニティ活動の推進（2）地域の防災力強化
- （3）地区まちづくりの推進

戦略 15 県南 50 万人圏域を目指したまちづくり

- （1）小山地区定住自立圏構想の推進（2）地域間連携の促進

具体的な事業の計画的・一体的推進